

# 繋がり続ける 私と地元

松村 みすゞ (高73回)

宇都宮大学工学部基盤工学科2年



●まつむら・みすゞ

飯田市出身。大学では電気電子分野を専攻。電磁誘導の研究に興味がありの勉強中。宇都宮大学キャラクター「宇~太くん」とイベントに出る「宇~太LOVE委員会」に所属している。

中学生の頃まで私は、飯田市は何もないつまらないところだと思っていた。しかし飯田高校に入学し、あるお店と出会ってからその考えは一変した。

高校時代は電車通学だった。最寄り駅は飯田駅。家から駅に向かう途中の通学路にその店はあった。飯田駅を利用する人なら「裏山しいちゃん」という名前の異様な雰囲気の店を見たことは多いと思う。異様な見た目にひかれてそのお店に入った日から私の飯田市に対する思いは大きく変わった。

裏山しいちゃんには飯田高校の先輩やほかの学校の先輩が頻繁に入り出しており様々な学生活動を行なっていた。裏山しいちゃんに通うようになり私もその学生活動に参加するようになった。たとえば、リニア中央新幹線の長野駅が飯田にできるにあたっての駅の構成やリニア中央新幹線の上手な利用方法を学生なりに考えたり、裏山しいちゃんを会場にして地方創生会議を開いたりした。このような活動を通して私は飯田市の今まで知らなかつた魅力に気づき、飯田市のことが大好きになつた。

飯田高校を卒業し私は栃木県にある宇都宮大学に進学をした。地元を離れ一人暮らしを始めた私には地元とのつながりが2つ残っていた。1つ目は私と同じように関東方面に進学した友達と定期的に集まることだ。関東はどこも交通機関が整備されており少し離れている友達にも会いにいきやすく、地元に帰ることができない時も比較的すぐに友達に会うことができる。そして2つ目は裏山しいちゃんに関わっていた人たちと毎週zoomでお話をすることだ。

大学進学に伴い地元を離れるため裏山しいちゃんの人たちとのつながりが薄れてしまうのではないかと懸念していた。しかしzoomで毎週話す機会を設けていると教えていただき参加することにした。雑談を中心毎週お話をしていたが、高校生時代に裏山しいちゃんに集まつ

ていた人たちと「かえる事業」というインターンシップアシスト事業のお手伝いさせていただくようになった。

かえる事業(<https://kaerucity/>)とは大学生、専門学生の方を対象に飯田下伊那地域の企業との「つながり」づくりをして、インターんシップや就職活動を応援する事業である。私はかえる事業の学生アクセラレーターとして活動をしており企画や運営に関わっている。昨年の夏、私は学生アクセラレーターとして飯田下伊那の20社以上の企業さんとオンライン・インターナンシップでお話をさせていただいた。オンライン・インターナンシップとは企業の社長さんや人事の方と30分ほどZoomを使ってその企業の説明を聞くことができる次世代型のインターナンシップである。

このオンライン・インターナンシップを通して私はとても成長することができ、そして飯田下伊那が素敵な地域であるということが再認識できた。アクセラレーターとしての参加だったので、インターナンシップの司会進行をさせていただいたり、参加学生に対して話題を振ったりと、対話のスキルがとても身についた。お話しさせていただいた企業の方は皆さん良い方ばかりでその企業の説明はもちろんのこと、私たち学生の質問全てに快く答えていただいた。そしてどの企業の方も共通して話して

くれたことがあった。それは「私たち大学生、専門学生たちが卒業した後、飯田市に戻ってきてほしいか?」という質問に対する返答である。どの方も「もちろん地元に戻ってきてほしい。けどそれを強要するつもりはない。院に進学するのも良いし、都会に就職しても良い。自分がやりたいことをするのが一番だよ」とおっしゃってくださった。そのように学生に伝えてくれる方がたくさんいて飯田下伊那はとても素敵なところだと思った。

そしてこのような事業に積極的に参加してくださる企業さんがたくさんある私の地元はとてもパワフルだなと嬉しく感じた。去年のオンライン・インターナンシップの様子がYouTubeに上がっているので是非見ていただきたい。

今年もたくさんの企業さんがインターナンシップに参加してくださり、さらに対面でのインターナンシップも行われる。大学・専門1年生から参加できるので興味を持った方、そして企業側での参加もお待ちしております。



昨年は20社以上の企業がオンライン・インターナンシップに協力